

若鳩

WAKABATO

発行所

高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局

〒780-0916

高知市城北町1-14

TEL 088-822-5270

FAX 088-823-6387

<https://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>

『自分を見つめ、未来を描く夏』



副校長 有澤 拓也

四月七日の始業式・入学式から三か月が経ち、早くも一学期の終業式を迎えました。一年生にとっては、新しい環境でのスタートに、最初は不安や緊張もあったと思いますが、四月の対面式・部活動紹介・ホームマツチをはじめ、五月の県体、六月の中間試験、七月の期末試験と、多くの経験を重ねるなかで、小津高校での生活にも少しずつ慣れてきたのではないのでしょうか。

二・三年生は学校行事や部活動を通して、後輩や学校全体を引っ張っていく姿が見られ、とても頼もしく感じました。とりわけ、六月七日に開催した探究活動発表会で、三年生はこれまで積み重ねてきた研究成果を多くの参加者の前で発表しました。一・二年生にとっても、先輩の高度で専門的な発表を見て多くの学びがあつたと思います。この日、外部から参加してくださった方々からも、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。本校の探究活動は年々進化しており、小津高校ならではの特色ある教育活動となつていきます。

生徒の皆さんの中には、この一学期間の学校生活を通して、自分や将来のことを少しずつ考えるようになった人も多いのではないのでしょうか。ちょうど高校生この時期は、自分の生き方や価値観を模索し始める大切な時期です。また、自分がどんな人間なのかを知り、社会とどのように関わりを持つかを考え、未来に対して現実的に目標を設定できるようにするのもこの時期の特徴といわれています。こうした時期だからこそ、皆さんに大切にしたいことを三つお話ししたいと思っています。

「自分と向き合い、自らの進む道を描く」

生徒の皆さんには、この一学期を振り返って、自分の現状を客観的に見つめてもらいたいと思います。自分の夢・目標に向かいます。何をすべきかをじっくり考えるということが必要です。自分を知り、自分の持ち味（よさ、得意なこと）は何か、将来、人や社会の中で自己実現していくために何が必要か（課題）を振り返るわけです。もちろん設定した目標がすべて達成できていくわけではありませんが、大切なのは結果そのものよりも、自分なりにしっかりと振り返りをするその「過程」なのです。高校時代にこうした自己省察を重ねたかどうかは、高校三年間ばかりか、卒業後の人生における成長発達にも大きく影響してきます。ぜひ自分と自分の目標にじっくり向き合ってください。

「小さな努力の積み重ねが、やがて自信になる」

目標に向けて努力を続けることは容易ではありません。やらぬ理由はありません。やらない理由はすぐに思いつくものです。やりたくない気

分を乗り越え、やるべきことに向かうために、どのようなマインドセットが必要でしょうか。ちなみに私は、手のひらに小さな石を握り、毎日磨き続ける自分自身を想像しています。そのただの石ころを、毎日大切にコツコツ磨き続けるのです。そうやって毎日磨かれ、徐々に輝き出す石を「自信」と呼んで大切にしまっています。努力の先にしか、自信は生まれません。皆さんも、ぜひ努力している自分を信じ、励ましてください。そして勇気をもってその努力を続けてください。

「和して学び自律して歩む」

学校は学力を育むだけでなく、集団生活を通じて社会性を育てる場でもあります。本校の校是「和して学び自律して歩む」には、仲間と支え合いながら学び、成長するということです。思いが込められて、他人が成長するうえで、他者との関わりは欠かせないものです。ですから、この三年間の学校生活を通じて、できるだけ多くの人と関わり、協働し、その多様性を認め、一人ひとりを価値ある存在として尊重しててください。そうして身につけた感覚や態度は、これから

保護者の皆様へ

一学期を終え、たくましく成長したお子様をご家庭へお返しします。これまでのご支援に心より感謝申し上げます。夏休み期間中には、普段よりもご家族と過ごす時間が長くなります。ぜひ勉強や部活動など、たくさんの方の話をとおして、お子様のがんばりをほめてあげてください。ご家庭での関わりによって、子どもたちはまた力強く羽ばたいていくことができます。今後とも本校の教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

第110号若鳩

- ・自分を見つめ、未来を描く夏
- ・県体活躍の記録
- ・PTA報告
- ・前期生徒会役員一覧
- ・部活動紹介
- ・SSH活動報告
- ・教育実習生来校
- ・カウンセラー便り
- ・生徒指導部より
- ・進路指導部より
- ・図書室より
- ・行事予定
- ・編集後記

など

県体活躍の記録

五月二十四日(土)二十六日(月)の日程で第七十八高知県高等学校体育大会が行われました。どの競技も熱戦を繰り広げ、様々な活躍が見られた県体ではありましたが、その中でも見事入賞をし、四国大会への出場権を獲得した選手を紹介します。また、★印の選手・団体は全国大会への出場も決まっています。おめでとうございます。

【陸上競技】

○男子100m

第3位 宮本 悠人 (3-6 H)

第2位 宗石 直樹 (3-6 H)

○男子200m

第3位 宮本 悠人 (3-6 H)

第2位 宗石 直樹 (3-6 H)

○男子100mH

第3位 山本 陸 (3-1 H)

○男子4×100mR

第3位 田島 暖也 (3-1 H)

徳永 優太 (3-2 H)

宮本 悠人 (3-6 H)

○男子4×400mR

第8位 田島 暖也 (3-1 H)

井沖 貴 (3-3 H)

宮本 悠人 (3-6 H)

近藤 永騎 (2-4 H)

○男子八種競技

第7位 山本 陸 (3-1 H)

○女子400m

第4位 河合 花梨 (3-1 H)

○女子800m

第1位 河合 花梨 (3-1 H)

○女子1500m

第4位 岡田 有倭 (3-6 H)

第6位 吉良 環那 (1-5 H)

○女子3000m

第4位 岡田 有倭 (3-6 H)

○女子100mH

第4位 山中 理子 (3-1 H)

○女子400mH

第5位 博田 愛笑 (2-5 H)

○女子5000mW

第2位 川上 栞奈 (3-2 H)

○女子4×100mR

第5位 山中 理子 (3-1 H)

山中 歩乃花 (2-3 H)

博田 愛笑 (2-5 H)

○女子4×400mR

第5位 河合 花梨 (3-1 H)

芝 彩芭 (2-5 H)

博田 愛笑 (2-5 H)

○女子やり投

第4位 松本 海風 (2-7 H)

○女子七種競技

第1位 橋本七愛音 (1-4 H)

◆第78回四国高等学校陸上競技

対校選手権大会

○男子100m

第2位 ★宗石 直樹 (3-6 H)

○女子5000mW

第1位 ★川上 栞奈 (3-2 H)

○男子200m

第5位 宗石 直樹 (3-6 H)

【ソフトボール】

○女子

第2位 中島 和香 (3-6 H)

【弓道】

○男子個人

第5位 川原 孝誠 (3-7 H)

【剣道】

○女子

優秀選手賞 山下 杏 (3-2 H)

○男子個人戦

ベスト8 村田 啓彰 (2-1 H)

【ソフトテニス】

○男子団体戦

第3位 横江 一清 (3-2 H)

橋本 蓮史 (3-4 H)

森本 龍輝 (3-4 H)

田島 勢大 (3-5 H)

根口 盛梧 (3-5 H)

中越 優太 (3-6 H)

藤戸 悠光 (1-4 H)

【卓球】

○男子団体

第2位 大友銀次郎 (3-1 H)

筒井 秀貴 (3-3 H)

○清岡 和樹 (3-4 H)

的場 遼斗 (3-4 H)

黒原 伊吹 (2-1 H)

濱田 隼矢 (2-2 H)

奥野 海翔 (1-2 H)

○男子ダブルス

ベスト8 的場 遼斗 (3-4 H)

濱田 隼矢 (2-2 H)

清岡 和樹 (3-4 H)

的場 遼斗 (3-4 H)

黒原 伊吹 (2-1 H)

濱田 隼矢 (2-2 H)

奥野 海翔 (1-2 H)

敢闘賞 的場 遼斗 (3-4 H)

○女子団体

第3位 岩本 瑠那 (3-7 H)

下元 千夏 (2-3 H)

西田 瑠来 (2-4 H)

島崎 歩 (1-4 H)

小原 彩羽 (1-5 H)

逢坂 穂花 (1-7 H)

【ハンドボール】

○男子

第3位 下元 秀太 (3-1 H)

大塚 遥人 (3-2 H)

佐藤 陽太 (3-2 H)

瀧本 京悟 (3-2 H)

森 頼斗 (3-2 H)

川村 泰生 (2-3 H)

松本 佳也 (1-1 H)

吉井 煌凱 (1-3 H)

○ビーム・ライフル少年女子立射

60発競技の部

第5位 ★中根 瑞希 (3-4 H)

第6位 ★中西 優花 (3-6 H)

○ビーム・ピストル少年女子立射

60発競技の部

第2位 ★山本 穂香 (3-6 H)

○ビーム・ライフル少年男子立射

60発競技団体の部

第3位 西森 孔亮 (3-2 H)

尾木 希色 (3-4 H)

長井 太亮 (3-5 H)

○ビーム・ライフル少年女子立射

60発競技団体の部

★第1位 中根 瑞希 (3-4 H)

中西 優花 (3-6 H)

山本 穂香 (3-6 H)

◆水泳同好会

○水泳競技の部

第1位 有藤 友作 (2-3 H)



PTA報告

六月七日(土)に令和七年度PTA総会が開催されました。午前中はSSH探究活動発表会を行い、大学関係者、中学生、保護者など総計一七〇名の方が来校してくださいました。午後からは、土佐塾予備校元校長の楠瀬英彦先生による進路講演のあと、PTA総会が行われ、一三四名の保護者等が参加されました。学校長、久保PTA会長の挨拶に引き続いて議題に入り、事業報告・決算報告、今年度の事業計画・予算などについて審議がなされました。また、役員改選が行われ、別表のとおり新役員が決定しました。総会終了後、一年生保護者等は普通科はコース選択説明会、理数科はホーム懇談会を行い、二・三年生保護者等は進路指導部による進路説明会を行いました。多くの保護者等の皆様に出席していただきありがとうございました。

役職	氏名	生徒ホーム等
会長	松本 憲誠	3-5
副会長	近藤 友香	3-2
副会長	小崎 友一	2-7
副会長	中野 歩美	1-1
副会長	有澤 拓也	副校長
副会長	畑山 里美	3-5
会計	植田 千鶴	事務長
監事	宮島 美幸	3-6
監事	和田 梨湖	1-6
監事	清藤 和樹	2-4
書記	坂下 真人	1-1
書記	北岡 宣子	2-6
書記	植村 敦至	1-3
教諭		

前期生徒会役員一覧

生徒会長 就任あいさつ

二期期には、若鳩祭やミニ体育祭など、高校生活を振り返った時、記憶に残る行事が控えています。勉学に部活にと多忙な本校の日々だからこそ、大切な思い出の力添えができるよう、生徒会一同協力して企画を作り上げていきたいと考えています。私自身も、生徒会長として、皆さんと一緒に楽しみ、最高の思い出を作れるように努めていきたいと思っています。令和七年度前期生徒会をよろしく願います。

三年一H 池田 吏輝



役職	氏名	クラス
生徒会長	池田 吏輝	3-1
副会長	植村 英太	3-5
文化部長	山崎 虎太郎	2-5
文化副部長	中平 侑希	1-1
体育部長	田中 ひかり	2-6
交流推進部長	吉市 早希	2-5
交流推進副部長	松下 由愛	2-5
交通自治部長	大塚 こはる	2-3
保健美化部長	谷脇 悠真	3-1
広報伝達部長	黒石 怜那	2-1
会計部長	海地 由菜	2-3
書記	矢野 絵理奈	2-7
会計監査委員長	五藤 衣花	2-6

紹介します!!

コメント

- ① 部活動をやっている良かったこと
- ② 部活動のアピール
- ③ 7月以降の大会、発表会

男子卓球部

- ① 練習や試合を通して精神力や集中力が向上し、応援してくれる方々への感謝の気持ちを持てたこと。
- ② 各々が各自の目標のために日々の練習を大切にしながら一生懸命取り組んでいます。
- ③ 7月 夏季大会、9月 秋季大会、11月 冬季大会



女子卓球部

- ① 諦めないことや努力の大切さに気づけたこと。また、礼儀や感謝の気持ちなど、人間性の向上に繋がったこと。
- ② 「応援してもらえる選手」を目標に、全員が毎日の練習を頑張っています。
- ③ 7月 夏季大会、9月 秋季大会、11月 冬季大会



バドミントン部

- ① 集中力が高まるため、自分のしたいことを長時間集中してできるようになりました。また、周りとの協力して練習を行うので、視野が広がり、協調性も高めることができました。
- ② 自分自身を追い込んでいくことによって強くなれるスポーツであると思っています。だからこそ、お互いがお互いを支えあって日々一生懸命練習しています。
- ③ 8月 夏季大会、11月 秋季大会、1月 冬季大会



野球部

- ① 大切な仲間と出会うことができ、楽しい面だけでなく苦しいことも仲間と一緒に乗り越えてこれたこと。多くの方に励ましていただき、支えていただく中で野球をさせてもらえたことです。
- ② チーム目標のために一人ひとり自分に必要なことを考え、明るく前向きに行動することができる部活動です。
- ③ 7月 選手権大会、8月 新人戦、9月 秋季大会



サッカー部

- ① 仲間と共に、目標を掲げ、早朝練習に励み、文武両道に挑戦する中で、将来に必要な人間性を高めることができたことです。
- ② 伝統のあるサッカー部で、先輩たちの功績に恥じぬよう、全国大会での勝利を目指して頑張ります！
- ③ 高知県1部と3部リーグに参戦しています（4月～12月計18試合）、10月～11月 全国高校サッカー選手権高知県大会



男子バスケットボール部

- ① 人として成長できたこと。挨拶をする、整理整頓、感謝するなど日常生活における基礎的なことを学べた。特に、どのようなことに対しても最後まであきらめない情熱を持つことができるようになった。
- ② チーム目標を達成するために日々の練習を大切に、一人ひとりが互いを高めあいつつ活動しています。
- ③ 8～12月 リーグ戦、11月 秋季大会
1月 冬季大会



女子バスケットボール部

- ① 助け合える仲間と出会えたこと。
- ② 明るく元気に頑張っています。きつい練習もあるけど公式戦で勝てるように、協力しながら声を出して日々の練習に取り組んでいます。リーグ戦では強豪校ともあたるけど、最後まで諦めずに頑張ります。
- ③ 8～12月 リーグ戦、11月 秋季大会
1月 冬季大会



男子バレーボール部

- ① 仲間と同じ目標に向かいバレーができることに楽しさや喜びを感じ、同時に応援してくれる周りの方々への感謝の心を持つことができた。
- ② 学年に関係なく部員同士の仲が良く、チーム力向上のため個人のスキルアップを目指し日々の練習に真剣に取り組んでいます。
- ③ 8月 夏季大会、11月 秋季大会、1月 冬季大会



女子バレーボール部

- ① 団体競技であるため、仲間と協力し合い、一人ひとりがプレーに責任感をもつため、日々の行動にも責任感をもって行動できるようになった。
- ② 学年を超えて互いに高めあえるような声のかけをして、日々目標に向かって頑張っています。
- ③ 8月 夏季大会、11月 秋季大会、1月 冬季大会



ソフトボール部

- ① 日々の練習や他校との合同練習を通して人間性を高めることができ、成長を実感できたことです。
- ② 選手が7名なので即レギュラーです。部員とマネージャーを募集しています。未経験でも大歓迎です。
- ③ 8月 夏季大会、10月 秋季大会
11月 冬季大会



部活動の様子を

男子弓道部

- ①集中力が養われ、自分と向き合うきっかけができました。また、歴史のある弓道に部活動として触れることができました。
- ②弓を引いている姿は凛としていてカッコよく、的に中った爽快感は弓道でしか味わえません。
- ③ 7月 夏季大会、9月 秋季大会
11月 冬季大会



女子弓道部

- ①集中力が高まり、プレッシャーに強くなれたことです。礼儀が身に付いたことで自分自身が成長できたのがよかったです。
- ②自分の技術やメンタル面を客観的に見直して、それぞれが目標に向かい、日々努力できるやりがいのある部活動です。
- ③ 7月 夏季大会、9月 秋季大会、11月 冬季大会



ハンドボール部

- ①色々なところに遠征ができて、各大会で上位に入賞することができた。技術面だけでなく、礼儀や精神面も向上できた。
- ②2年連続県体で3位となり、四国大会に出場することができました。素人からでも頑張れば、四国大会以上は行けます！
- ③ 9月 夏季大会、10月 秋季大会
12月 冬季大会



ライフル部

- ①練習を通して、自分を見つめ直すことができます。また、様々な大会に参加することで、他校との関わりを深めることもできます。
- ②ほぼ全員が未経験者なので、初心者の方でも気軽に入ることができます。先輩の方たちも優しくて面白い方ばかりで、たくさんアドバイスもしてくれます。
- ③ 9月 夏季大会、10月 秋季大会、11月 冬季大会



水泳同好会

- ①水球は、仲間とコミュニケーションを取りながらプレーする競技なので、自分だけでなく仲間に合わせた判断力、行動力が身に付きます。また、日々の振り返りを改善につなげ、試合では勝ちにこだわるところが魅力です。
- ②現在2名で活動しています。メイン是水球ですが、競泳にも力を入れています。水球は、他校と合同チームを組み、県外遠征や練習に励んでいます。競泳は、自己ベストを更新した時は大きなモチベーションになり、達成感につながります。
- ③水球 8月 インターハイ、JOC
9月 国民スポーツ大会、3月 U-17潮風カップ他
競泳 7月 四国大会、9月 学年別大会
2月 春季大会



陸上競技部

- ①たくさんの仲間に出会い、日々切磋琢磨しながら自己記録を更新し、喜びを分かち合えること。
- ②先輩後輩関係なく、楽しく練習でき、一人一人が自分の得意な分野で輝くことができる。
- ③ 8月 全国高校総体、9月 県新人戦
10月 四国新人戦
11月 全国高校駅伝高知県予選



男子ソフトテニス部

- ①テニスの技術や礼儀などを学び、人として大きく成長することができる。同じ目標に向かう仲間たちとの時間はかけがえのないものです。
- ②笑顔の絶えないチームです！伝統のある小津高校で全国大会に出場するために、まずは『応援されるチーム・応援される選手』になろうと全員で切磋琢磨しています。
- ③ 8月 夏季大会、9月 秋季大会、11月 冬季大会



女子ソフトテニス部

- ①先生や先輩に対する礼儀が学べたこと。練習や試合を通じて絆が深まり喜びや悔しさを共有できたこと。
- ②きついことがあっても、相談をして励まし合える。
- ③ 8月 夏季大会、9月 秋季大会、11月 冬季大会



剣道部（男子・女子）

- ①たくさんの人と出会うことができ、厳しい稽古を通して礼儀作法や技術の向上に繋げ、心身共に成長できたことです。
- ②各部員が高い目標を持ち、精神力、技術力を基に、人として成長することができます。
- ③ 9月 夏季剣道形大会、11月 秋季新人大会
1月 冬季大会



生物部

- ①生き物と学校内で触れ合えるので、とても癒されました。昆虫標本の整理も専門家のものと行っています。あまりイメージがないかもしれませんが、パソコンを使っているので、タイピング技術が身に付きました。それ以外にも、発表の機会もあるので、プレゼン力など幅広いスキルを身に付けることができました。
- ②とても自由な部活なので、生き物好きであれば誰でも歓迎です！ぜひ見に来てください！！
- ③9月の文化祭で昆虫食などを販売します。

**地学部**

- ①知識やデータ分析能力、発表スキルを学び、多くの発表経験を積むことができたこと。
- ②兼部もでき自由な雰囲気です。天体観測や主に雷の研究をしていて、県外の発表会で専門家や他校の高校生と関わりが持てたりと、わくわくする部活です。是非来てください！
- ③10月 生徒理科発表会、2月 スプライト研究会

**科学部**

- ①できる範囲で、自分がやりたいと思った実験ができる。
- ②複数の部活の掛け持ちや、習い事などとの両立ができる。やりたいと思った実験ができるので、科学部ならではの活動ができる。
- ③9月 若鳩祭
3月 高校生と科学を楽しもう（サイエンスショー）

**華道部**

- ①お花の活け方を専門の先生から教えていただけます。花材は持ち帰ることができるので、お家でも花を楽しむことができます。
- ②季節ごとの花の名前やその特徴を学ぶことができ、異なる作品を作る楽しみがあります。また、自分の活けた花を校長室に飾ることもできます。現在部員が3名しかいません。初心者大歓迎です。気軽に入学してください。今年は9月に若鳩祭があります。一緒に綺麗な花を活けましょう。
- ③9月 若鳩祭

**美術部**

- ①同じ趣味を共有する仲間ができ、おしゃべりもしながら和気あいあいと楽しく活動に取り組めることです。
- ②絵を描くことが好きな愉快的仲間たちが集まり、アイデアが飛び交い、笑いが絶えない場所です。また、いろいろなジャンルの制作に挑戦できることが魅力です。絵を描くだけではなく、粘土で立体作品を作ったりすることもできます。
- ③ 7月 デッサン講習会
8月 高文連美術・工芸専門部 夏季研修「アートこうち」
9月 若鳩祭・美術部発表
11月 高校美術展

**音楽部**

- ①歌う楽しさを知ることができたことです。
- ②週に3日で、他の部活動と掛け持ちもできます。ぜひ来てください。
- ③9月 若鳩祭

**吹奏楽部**

- ①私たちの演奏を聴きにきてくださった方から、拍手や温かい言葉をいただいたとき、吹奏楽をしていて良かったと思います！
- ②部員みんな、個性豊かで仲良しです！！また、一つの音楽を作り上げる楽しさや達成感を味わえるのも吹奏楽の魅力です！！そして、只今部員絶賛募集中です！一音入魂！！
- ③ 7月 全国高等学校総合文化祭（香川大会）
8月 全日本吹奏楽コンクール（高知県大会）
9月 若鳩祭、11月 高文祭
12月 全日本アンサンブルコンテスト県予選大会

**フォークソング部**

- ①自分のしたいこと、自分の極めたい所を自分で練習し、校外に出てたくさんの人と関わり、音楽面のみでなく、人間として成長することができます。
- ②文化祭などの校内のみでなく、校外でも、ライブやイベントで活動しています。少しでも興味がある人は、是非体験に来てください！！
- ③ 8月 軽音祭（夏の陣）、9月 若鳩祭
11月 高文祭、12月 軽音祭（冬の陣）

**茶道部**

- ①日本の伝統文化の一つである茶道や礼儀作法について学びながら、おもてなしの心や気配りなどを身につけることができます。
- ②今年は新入部員もたくさん入り、みんなで楽しく活動をしています。初心者、兼部也大歓迎です。
- ③9月 若鳩祭、11月 高知県高等学校総合文化祭

**書道部**

- ①作品制作などを通して、集中力と継続力を身につけることができた。
- ②パフォーマンスなど皆で作りに上げていく活動もあり、学年を超えて仲がよい明るい部活動。互いにライバル意識を持ち切磋琢磨しながら活動し、コンクールでの上位入賞を目指している。
- ③ 7月 全国高等学校総合文化祭（香川大会）
8月 安芸全国書展高校生大会、S-1グランプリ
9月 若鳩祭
11月 高校書道展、伊勢神宮奉納書道展
12月 中岡迂山全国書道展
全日本高等学校コンクール
2月 全国学生書道展、書の甲子園



将棋囲碁部

- ①競い合う仲間がいることで、毎日楽しく活動することができました。学年関係なく対等な対局を重ねることで、実力を高めることにもつながります。
- ②初心者歓迎で、楽しむことを第一に活動しています。兼部も可能です。
- ③ 7月 夏季交流会
全国高等学校総合文化祭（香川大会）
11月 新人大会予選・学生将棋選手権

**放送部**

- ①人前で話すときに「伝える」ことを意識するようになりました。正確な情報を大勢の人に伝える責任感を持つようになりました。
- ②毎日の放送活動だけでなく、コンテストへの出場やラジオ・テレビの収録などもやっています。学校の中だけでは経験できないこともたくさんあって楽しい部活動です。興味のある方、ぜひ遊びに来てください！
- ③ 7月 NHK杯全国高校放送コンテスト
11月 秋季放送コンテスト

**英語部**

- ①We can have fun conversations with everyone and also learn about various cultures from around the world.
- ②We exchange letters with British students! Also, our ALT Philan is very kind and can speak Japanese.
- ③September: Cultural Festival

**写真部**

- ①普通に過ごしているだけでは、気づけないような自然の変化を発見できるようになりました。
- ②今年度は出品するコンテストを増やし、活動の幅を広げました。兼部可能で、途中入部也大歓迎です！
- ③ 8月学校制服フォトコンテスト、9月 若鳩祭
11月 高文祭 高校写真展

**ハンドメイド部**

- ①部員みんなで協力しながら作りたいお菓子里に挑戦できることです。また、初心者でも楽しく始められます。
- ②兼部も可能で、楽しく交流できる部活になっています。興味のある人はぜひ遊びに来てください。
- ③9月 文化祭でお菓子の販売をします。

**新聞部**

- ①取材で、「話す力・聴く力・質問する力」が身につきます。発行した新聞を読んだ方から褒められると、やりがいを感じます。
- ②平日の活動（週2～3日）なので、時間に融通がききます。校内新聞「ハトの宅急便」の発行だけでなく、他校の新聞部と交流する研修会もあります。
- ③ 7月 全国高等学校総合文化祭（香川大会）
9月 若鳩祭
11月 高知県高文祭・学校新聞コンクール

**演劇部**

- ①人数が多くないので部員一人一人と仲良く活動できると、他校の生徒との交友関係を広げられること。
- ②学年関係なく楽しく活動できます。人前に立つことが苦手な人や、面接などで緊張してしまう人は、ぜひ体験にきてください。
- ③ 8月 演劇講習会、9月 文化祭での上演
11月 演劇コンクール

**図書部**

- ①「図書だより」の作成により、書く力が身に付きます。また、本の返却、貸し出し業務を通して、面白そうな本にたくさん出会うことができます。
- ②活動日・活動時間の調整、兼部もできる比較的自由な部活です。興味のある方はぜひ来てください！
- ③ 7月 コッコ・サンによる読み聞かせの講習会・保育園への読み聞かせ実習、9月 若鳩祭
11月 学校新聞コンクール

**数学同好会**

- ①数学が好き、得意な人の集まりなので、授業より深い学びができます。
- ②数学検定などの問題を解いています。週1回活動しているので、もし数学でわからない問題があるときは訪ねてきてください。解き方、教えます！
- ③数学検定受検のため、さらに勉強します！

**漫画研究部**

- ①好きに絵を描けること。
- ②様々な道具を使って、自由に絵を描いたり、楽しく談笑したりと賑やかな部活動です。興味のある方はぜひ！漫研部室（東館4階のメディア室1）まで来てください。火・木曜日であれば、基本いますので、そのときに…。
- ③8月 まんが甲子園、9月 ミニ文化祭



文部科学省指定

SSH
(スーパーサイエンス)
(ハイスクール)

認定校2年目

各事業担当より

令和七年度SSH活動の概要

本校は令和六年度から、SSH認定校の指定を受け、これまでのSSHの取組を継続実施しながら、『地域で活躍できる人材（リージョナル・イノベーター）の育成』に取り組んでいます。

今年度は認定校二年目を迎え、これまでに研究開発してきたSSH事業の取組の他、新規事業などについて様々な活動を紹介したいと思えます。

また、本校ホームページにSSH活動の様子などを載せていますので、そちらもご覧になってください。

◆第十二回四国地区SSH生徒研究発表会（ポスター発表）

四月五日(土)理数科三年生二十四名・八グループが、香川県立高松第一高等学校で行われた四国地区SSH生徒研究発表会へ参加しました。

各グループが、研究動機・先行研究・研究の意義・仮説・研究方法・結果・考察・結論などをポスターにまとめ発表しました。

県外の高校生や有識者などから素朴な疑問に始まり、研

究手法や結果、考察について様々な質問を頂きました。自分たちの研究について改めて考察しなおす場面となったのではないのでしょうか。



四国地区SSH生徒研究発表会

◆理数科合同オリエンテーション

四月十六日(水)三・四時間目を使って、理数科合同オリエンテーションを行いました。理科の縦のつながりを強くしようというねらいのもと、「ビー玉コースター」の制作に取り組みました。

牛乳パックをハサミで自由にカットして作成したコースターを段ボールの土台にマスキングテープで貼り付け、ビー玉がスタートしてからゴールするまでの時間を競いました。各チームで役割分担をしながら意見を出し合い、限られた材料と道具を使い、工夫を凝らしたコースを制作していました。

新入生と二・三年生が活発に意見交換する様子も見られました。

◆普通科一年 総合的な探究の時間 講演①②

五月二日、高知大学地域協働学部准教授の松本明先生より、「SDGs持続可能な開発目標とは？その経緯とわたしたちができること」と題してご講演いただきました。世界情勢の変遷の中で、よりよい社会づくりを目指すというSDGs採択に繋がっていくまでの経緯を学びました。十七の開発目標を学び、グローバルな視点から社会課題について考える機会となりました。

六月七日には、高知県産業振興推進部産業政策課島村拓海様に「高知県産業振興計画について」高知県の現状と課題」と題して講演をいただきました。

生徒たちは、事前学習で高知県の魅力と課題を調べて講演に臨みました。人口減少などの問題の現状、県が目指す将来像と目標、具体的な対策についてデータや映像を交えながら分かりやすく説明して

特に、すぐに答えが見つからない「問い」を探すことが難しくなってきたようですが、グループで協力して情報収集をしておき、メンバー全員が課題を「自分事」として捉え、主体的に活動していました。

◆理数科一年理数探究基礎「ミニ課題研究」

理数科一年生の理数探究基礎において、「ミニ課題研究」が始まりました。一学期は化学分野で質量保存の法則を題材に取り組みしました。

いただき、高知県の地域課題について知識を深めました。

◆普通科二年課題研究「課題研究テーマ設定」

六月五日(木)の総合的な探究の時間では、各探究グループに分かれて、興味・関心のあ



グループに分かれて話し合い

る事柄について、グループごとにテーマを定め、研究計画を立てるために、情報収集や話し合いなどの活動を行いました。

今後は、共有した課題を基に研究手法の改善を図り、仮説の検証に向けた追実験に取り組んでいきます。



実験の様子

◆理数科二年理数探究「課題研究テーマ設定」

理数科二年生では、いよいよ課題研究が始まりました。六月十七日(火)には、メンバーとして、一般社団法人(J)Ocean Academyの岡本尚也様をお招きして、課題研究テーマ発表会が行われました。

研究動機・先行研究・リサーチクエスチョン・仮説・研究手法などをスライドにまとめ、これから取り組む課題研究の概要について発表しま

した。岡本様からは、良い研究を行うための心構えや研究の進め方など助言を頂くことができませんでした。
限られた時間の中で主体的に取り組む、日本を支える科学技術系人材に成長してくれることを期待しています。



課題研究テーマ発表会の様子

◆SSH探究活動発表会(三年)

六月七日(土)、普通科・理科の三年生全員が、二年次から取り組んできた課題研究の成果を発表しました。

社会科学・自然科学分野の様々なテーマについて、研究背景・研究目的・リサーチ・エッセンス・仮説・研究手法・結果・考察・結論(提案)の流れで発表した後、質疑応答が行われました。

発表に取り組んだ生徒からは、「自分たちの取組がどのような評価を受けるのか心配だ」「伝えたいことをきちんと伝えられるか不安だ」などの声が聞かれ、緊張と不安の中の発表だったようですが、精一杯発表する姿が見られ、貴重な経験となったのではない

いでしょうか。発表を聞いた一、二年生からは、「長い時間をかけて試行錯誤したことが伝わってきた。」「どんな工夫をすれば聞き手に伝わりやすくなるのか分かった。」「三年生になったときにさらによいものになりたい。」「などの意見がありました。
また、来場した保護者や中学生、来賓の方からは、「生徒が取り組んでいる研究を知ることができてよかった。」「社会生活でも同様のことをやるので有意義だ。」「中学生とは違う観点で考察している、さすがは高校生の発表だと思った。」「緊張しながら一生懸命発表する姿に感動した。」「発表を聞く側の質問スキルが向上すると、もっと研究が双方向で深まるのではないか。」「などの感想が寄せられました。



発表会の様子

*SSH活動の見学を希望される方は、学校担当(笹岡)までお問い合わせください。

教育実習生が来ていました

六月十日(火)より、教育実習生十二名が本校で実習を行いました。期間は二週間から三週間とさまざまでしたが、それぞれの担当教員のもとで教材研究を行ったり、授業実践に励んだりしていました。生徒たちにとっては「先生」でありながら、「先輩」でもあるため、大学生活の話や高校時代の話について熱心に質問する光景も見られました。実習生にとってよい経験になったのはもちろんですが、生徒たちにとってもよい刺激になったことと思います。



カウンセラー便り



スクールカウンセラー
吉野 飛鳥

昨年度に引き続き小津高校に勤務することになりました、スクールカウンセラーの吉野飛鳥です。小津高校に勤務し始めて六年目になりました。今年度は週二回勤務することになり、みなさんにとってこれまでよりも身近に気軽に相談室を利用してもらえるよう相談活動をできればと思っています。相談室では、みなさんの困りごとや悩み事だけでなく、話したい、聴いて欲しいと思ったことについて、より良い高校生活を過ごせるようお手伝いします。気軽に利用して下さいね。
新しいこと続きの一学期がやっと終わろうとしていきます。頑張ってきた疲れが出てくる頃ではないでしょうか。皆さんはどのようにリフレッシュしていますか。頑張ることと同じように、好きなことをしたり、ゆったり過ごせる自分の時間も大切に出来るといいですね。

相談室では、生徒や先生方だけでなく保護者のみなさまの心配事や悩み事についてもお話をうかがい、一緒にお子様の支援に努めたいと思っています。お気軽に相談においでください。今年度もよろしく願います。

～ 利用方法 ～

日時	水曜日・金曜日(12時～18時)
場所	西館4階カウンセリング職員室 隣の面談室
予約	担任の先生やカウンセリング職員室の先生、養護教諭の先生などを通じて予約ができます。 また、SCの勤務日に直接面談室に予約をとり来てもらってもかまいません。

夏季休業に 向けて

生徒指導部

日ごとに暑さが厳しくなってくる毎日ですが、生徒の皆さんは変わりなく文武両道を目指し、頑張っていることと思います。

また、保護者等の皆様には本校の生徒指導にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

①夏季休業中の生活

さて、期末考査も終わり、これから夏季休業に入ります。この期間は生活が不規則になりやすいうえに、開放感から誘惑に負け、取り返しのつかない結果を招くなど、無為に日々を過ごしやすい期間です。

そこで皆さんにお願いです。この期間は自分自身の「心掛け」ひとつで、学習・部活動などを集中的に取り組み、レベルアップを図るための有効な期間になりえます。ぜひ、「心掛け」を大切にし、この期間に充実した生活を送り、今後の進路実現に向けて大きく前進してください。

次に、学校外での行動が主となる期間ですが、小津高校生である自覚と責任を持ち続けてください。公共の場ではマナーやモラルを遵守し、自己の言動を常に律するようにしてください。結果的に、その

言動が様々なトラブルを招かないことにつながります。自分の身をまもるためにも正しい行動をとってください。

また、家族とのコミュニケーションも大切にし、就業期間中には実践できないこともチャレンジしてもらいたいと思います。

②交通事故・水難事故

この期間中最も重要な事は、「健康で安全に過ごす」ことです。交通事故、水難事故などには十分に気を付けてください。

昨年は、自転車通学生の事故が非常に多く、通院を余儀なくされた生徒もいました。今年もこれまでに、多数の交通事故が発生しています。幸いに、大きな被害・加害は起こっていませんが、交通ルールやマナーを守り、安全運転を心掛け、常に先を予測した慎重な行動をとってもらいたいと思います。また、野外での活動が増え、海や川などでの水難事故も多くなる季節です。自身の泳力を過信せず、細心の注意を払い行動してください。

《交通ルールの遵守》

- ・信号無視・右側通行
- ・並進・一時不停止
- ・無灯火・通行禁止
- ・傘さし・携帯電話使用
- ・イヤホン使用等

③頭髮服装マナー

全体としては一学期間、落ち着いた環境の中で充実した学校生活を送れていました。夏季休業中も引き続き、「自覚ある行動」を期待します。

《休業中の注意事項》

①頭髮に染色などで手を加えないこと。

②登校時の服装に注意すること。

③自転車は所定の場所に駐輪すること。

④教室の戸締り、電気、エアコン、扇風機の電源は必ず切ること。

⑤その他、「夏季休業中の心得」を熟読すること。

④保護者等の皆様へ

保護者等の皆様へお願いですが、夏季休業期間は生活の中心が家庭になると同時に、生徒の活動範囲が広がります。従って、生徒がこの期間を安全且つ有意義に過ごすためには保護者等の皆様のご理解・ご協力が必要となりますので、よろしくお願いいたします。

《お願い》

- ・お子様の出席状況および学校生活の様子を、三者面談で確認してください。
- ・携帯電話、スマホの使用状況を確認してください。
- ・深夜徘徊、喫煙、飲酒などの問題行動、及び補導の対象となるようなことがないようご指導ください。
- ・何か事件、事故に巻き込まれた際には、早急に学校にご連絡ください。

終わりに

期間中、何か問題が発生したり、トラブルに巻き込まれたりした時は、一人で抱え込まず、問題が大きくなる前に保護者等及び学校へ報告・連絡・相談をしてください。学校として対処、善処いたします。

それでは、この夏季休業が皆さんにとって充実したものとなり、二学期始業式に元氣な姿でお会いできることを楽しみにしています。

成長する夏休みに 進路指導部



今年も暑い夏がやって来ました。約40日間ある夏休みは、まとまった時間が取れる貴重な期間であり、1、2年生にとっては日頃の学習を見直す絶好の機会です。また3年生にとっては、この夏の過ごし方が受験の合否を決めると言ってもいいほど重要な時間となります。したがって、2学期以降の学習や諸活動、受験等に大きく影響する夏休みをどのように過ごすのか、充実したものにしてほしいと思います。

●学習時間を確保した生活リズムの確立を

「起床・学習・就寝」の三つの時間を固定して、生活のリズムを確立してください。また、夏期集中補習にも必ず出席し、友人と励まし合い、刺激し合いながら勉強しましょう。さらに、補習終了後も教室や開成堂などで勉強する習慣を身に付けましょう。毎日同じ時間に家を出て、決まった時間に勉強することで生活リズムが生まれます。一日

中一人で勉強するよりも、「進路目標を実現したい」という熱い思いをもつ仲間とともに切磋琢磨することで、緊張感のある、集中した時間を作り出すことができます。自己管理・時間管理を徹底し習慣化しましょう。

●1年生、2年生の皆さんへ

1年生の皆さんは、高校生になって4か月がたちました。小津高校での生活に慣れましたか。授業進度の速さ、課題やテストにしっかりと対応できているでしょうか。1学期の学習の遅れをそのままにしておくと、その後の学習内容が理解できず、苦手科目となってしまう可能性が大きくなります。夏休みに各科目の理解できなかつたところを確実に理解し、自分のものにしていきましょう。

2年生は、春休みの課題として「進路調べ」をしたことで、自分の進路目標が何となく見えてきたのではないのでしょうか。しかし、その実現に向けて着実に努力を重ねている人がいる一方で、具体的に行動することができていない人もいます。2年次からの新たな科目の理解度は十分でしょうか。自分がつまづいたところに立ち戻り、苦手科目の基礎をしっかりと理解することに力を注いでください。

一方、進路目標が定まっている人は、少し高度なレベルの問題にチャレンジするなどの「プラスαの学習」を意識していきましょう。

また、例年夏休み期間中には、各大学・専門学校がオープンキャンパスを実施しま

す。オープンキャンパスは、学校の雰囲気を感じることが出来る貴重な機会です。実際の授業内容を体験したり、大学の研究成果に触れられるイベントがあったりと、各大学、趣向を凝らした様々な企画が実施されます。皆さんに体験してもらおうべく、オープンキャンパスやボランティアなど、校外活動への参加を夏休みの進路課題として設けています。たとえ第一志望校でなくても、実際に近隣の大学に足を運び、高校とは違う学びの内容を知ることが、今後の勉強に向けての良い刺激になるとともに、大きな意味を持つと思います。今、皆さんの心の中にある進路に対する思いを明確な目標にするために具体的かつ積極的な行動を心掛けてください。

●3年生の皆さんへ

「受験の天王山」と言われる夏。では、夏休みに何をすべきでしょうか。まず各科目の基礎力完成を目指しましょう。苦手科目や不得意分野がある場合は、その克服に努めることで学力の底上げをはかりましょう。次に、志望校の過去問題に挑戦してください。試験時間を意識して臨み、時間をオーバーしても最後までひと通りやり切ることで、実際に解いてみることで、目標とすべき学力レベルを知ることができ、そこから逆算することで今の自分に足りないものが明らかになります。また、この夏休みほどの科目を入試で利用するのかわ、どの入試方法で受験するのかわをじっくり考える最後の機会となります。時間的に余裕のある夏休みだからこそ、「ぜひこの大学で学びたい」という強い意志を再

確認するとともに、大学側が考える「入学してほしい学生像」と自分がマッチしているのかわを自己点検してほしいと思います。総合型選抜や学校推薦型選抜だけでなく、一般選抜においても、皆さんがどのような高校生活を過ごしてきたかを記した「ポートフォリオ」の提出を求める大学が増えていきますので、その準備も怠りなくしましょう。さらに、主体性の評価という観点から、面接や調査書の点数化を行う大学もありますので、これまでに以上に受験情報の収集が重要となっています。また、進学費用を含め、保護者の方とは十分にコミュニケーションを取り、受験を応援してもらええる環境を自分自身の手で整えてください。

●大学入学共通テストについて

1学期に実施した進路希望調査によると、本校の国公立大学への進学希望生徒は、1年生が191名(71・3%)、2年生が209名(79・5%)、3年生が204名(82・9%)となっており、多くの生徒が国公立大学への進学を希望しています。国公立大学の入試は、大学入学共通テスト(以下、共通テスト)と大学個別に実施される二次試験を受験し、その合計点で合否が決定します。また、ほとんどの私立大学でも、共通テストを利用した入試が実施されます。令和7年度入試(令和7年3月卒業)では、国公立大学に現役生が148名、過年度生が5名合格を果たしています。

科目が大きく変わりました。新教科「情報Ⅰ」の追加に伴い、国立大学志望者の標準的な受験科目数は、6(7)教科8科目に増加しました。さらに数学の出題範囲に数学Cが追加され、国語では新たな大問「実用的な文章」が出題されるなど、受験生が対策すべき科目や範囲がますます拡大しており、多科目の学習を適切なバランスで、学習していくことが求められています。来年1月17日(土)・18日(日)に実施される共通テストに向けて、しっかりとした対策をしてください。共通テストで必要とされる知識はあくまで高校教科書の範囲内ですから、まずは基礎事項の徹底と確認を行いましょう。そのうえで、模擬試験や実践型問題集で新作問題にもチャレンジしてください。確かな基礎力を身に付けていけば、思考力や判断力が問われる問題であっても、冷静に解けるはずです。この夏の学習でぜひ、盤石な基礎力を養ってください。

●最後に
能力や成績は、努力とともに右肩上がりにすぐに向上くわけにはありません。やればやるほどに伸びていくわけではなく、実際には下がったり上がったり平行だったりするものです。それでも、挫けずに一定量をこなしている、量が質に転化する瞬間があります。地道な努力を続けた先に、急成長した自分に出会えると信じて頑張ってください。皆さんが充実した夏を過ごし、秋には夏の成果が感じられることを期待しています。

2026年度大学入学共通テスト実施教科・科目

教科	科目	試験時間	配点
国語	国語	90分	200点
地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治経済」、「地理総合／歴史総合／公共」…このうち2つを選択解答	(1科目選択) 60分 100点 (2科目選択) 120分 200点	
数学①	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」	70分	100点
数学②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」	70分	100点
理科	①「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。 A ①から2科目 B ②から1科目 C ①から2科目及び②から1科目 D ②から2科目	【理科①】 2科目選択 60分 100点 【理科②】 1科目選択 60分 100点 2科目選択 120分 200点
外国語	「英語」リーディング 「英語」リスニング	80分 60分	100点 100点
情報	「情報Ⅰ」	60分	100点



図書室からのお知らせ

☆ 夏休みの貸出

貸出冊数 ひとり5冊まで

返却期限 8月26日(火) 始業式

下記の注意事項をみんなで守って、図書室を利用してください。

【注意事項】

- ・夏休み期間中、図書室が開館していれば、貸出・返却ができます。
- ・図書室は飲食禁止です。(ペットボトルや水筒等は鞆にしまってください。)
- ・図書室では私語をせず、静かにしましょう。
- ・読んだ本は元の場所に戻してください。
- ・長時間、荷物だけを置いたままにしないでください。
- ・携帯音楽機器の使用は周りの人に迷惑ですので、禁止しています。

期限を守ってね！



1、2年生は今年も夏休みの宿題に読書感想文があります。今年の課題図書は下の3冊です。ぜひ読んでください。3年生も希望者は応募できます。

★令和7年 第71回青少年読書感想文コンクール課題図書★

『銀河の図書室』

名取 佐和子 (著)
実業之日本社

宮沢賢治とその作品を研究する高校同好会イーハトー部を一人で起ち上げた風見先輩だが、「ほんとうの幸いは、遠い」という言葉を残して、突如学校に来なくなってしまった。

「図書ノ教室」を活動場所として、残された3人の部員たちがその謎を解明するべく賢治の作品を読み解いていく。その過程で、部員たちもそれぞれ抱えている問題と対峙し苦悩しながら、なんとかして先輩の復帰を願う気持ちが高まっていく。「ほんとうの幸い」とは。



『夜の日記』

ヴィーラ・ヒラナンダニ (著)
山田 文 (訳) 評論社

1947年、宗教の異なりからインドとパキスタンが分離独立、激しく敵対する。物語は、一家で命懸けの逃避をする12歳の少女の日記を通して展開する。異変を感じたのは、学校の男児に石を投げられた時。なぜ。大人も様子がおかしい。多様な人が平穏に暮らす土地ではなくなったのか。事態はどんどん悪化していった。



世界で続く憎悪と不信の衝突。過去のあやまちを思い、違いを受け入れ、寛容で平和な未来を、と著者は願う。

『「コード」のぼくが見る世界』

五十嵐 大 (著)
紀伊国屋書店

「コード (CODA)」は、耳が聴こえない、あるいは聴こえにくい親のもとで育った、聴こえる子どもたちを意味する。

著者はコードであり、幼いころから、親と世間と二つの世界を結ぶ「通訳」のような役割を担い、社会に潜む偏見や差別にも行き当たった。この社会は「健常者」を前提につくられているように思われる。様々な経験を経て、コミュニケーションで重要なものは、「理解したい」「伝えたい」と願う気持ちであると説く。



編集後記

今号では部活動の紹介を中心に掲載しました。様々な分野で日々頑張っている生徒たちを今後も応援していきたいと思っています。また、サポートしてくださっている卒業生や保護者等、関係の方々にも改めて感謝いたします。

二学期には若鳩祭やミニ体育祭などの大きな行事があります。活発に行事に打ち込むためにも、生徒の皆さんには勉強・部活動共に充実した夏休みを過ごし、元気に二学期を迎えてほしいと思います。今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

*若鳩はホームページでもご覧いただけます。
<https://www.kochi-net.ed.jp/ozu-h/>

行事予定

8月26日(月)	始業式
9月21日(土) 22日(日)	課題テスト
9月25日(木)	若鳩祭
9月25日(木) 26日(金)	ミニ体育祭 雨天順延
10月9日(木) 15日(水)	中間試験
10月24日(金)	遠足・サイエンス
11月26日(水) 12月2日(火)	フィールドワーク
12月18日(木)	期末試験
12月21日(日) 23日(火)	終業式 三者面談